



2025 年 9 月 29 日

株 主 各 位

会 社 名 株 式 会 社 ポ プ ラ
代 表 者 名 代表取締役社長 岡田 礼信
(コード番号 7601 東証スタンダード市場)
問 い 合 せ 先 取締役常務執行役員
経営企画室長 大竹 修
(TEL 082-837-3510)

2026年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025 年 4 月 11 日に公表いたしました 2026 年 2 月期第 2 四半期(中間期)及び通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,769	163	171	96	6.05
今回修正予想 (B)	5,958	227	244	176	12.89
増減額 (B－A)	189	64	73	80	
増減率 (%)	3.2	39.2	42.6	83.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 2 月期第 2 四半期)	6,228	261	268	264	20.50

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきましては、異常な猛暑の影響に加え、インバウンド需要の増加に伴い、ポプラ・生活彩家店舗およびローソン・ポプラ店舗の既存店ベースの売上は前年比 106.5%と当初計画を超える高い水準で推移いたしました。

また、自社工場の外部小売事業者向けの弁当、おむすび、惣菜の販売は、販路の拡大に伴い大幅な増産となり、前年同期比 277%、完全調理済み冷凍惣菜についても前年同期比 282%と大きく伸長いたしました。

利益面では、原材料や仕入れ価格、物流費の高騰に加え、8 月下旬に設置完了したトンネル式フリーザー設備の稼働に向けた増産体制構築のための人件費が前倒しで発生するなど、厳しい状況でしたが、売上高の増加による粗利益の増加がこれらの費用を上回ったため、上方修正いたしました。

なお、2026 年 2 月期の通期連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境の先行きが不透明であることから、2025 年 4 月 11 日に公表しました数値を据え置いております。今後、通期連結業績予想に修正が必要な状況が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上